

分子生理学研究室

教員名：宮西隆幸

● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

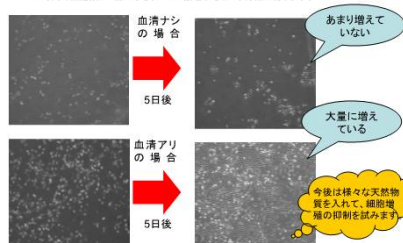
生命体は、さまざまな環境変化に柔軟に適應して生活しています。その仕組みをたどっていくと、その本質が生体分子の発現、調節、制御、相互作用であることがわかってきます。

我々は、さまざまな生命事象と環境の関係を分子レベルで解明するため、以下のテーマの研究を行なっています。

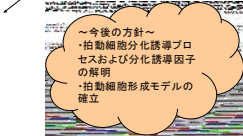
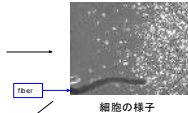
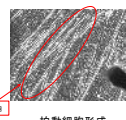
- (1) 細胞の増殖を活性化または抑制するさまざまな化学物質の探索とその分子機構（仕組み）に関する研究
- (2) 骨格筋組織から心筋様自動拍動細胞への分化誘導できる幹細胞の分離と誘導の仕組みに関する研究
- (3) 天然物質およびその類似物質による分子モーターの機能阻害とその仕組みに関する研究
- (4) 環境変動にともなう遺伝子発現のスクリーニング解析（環境プロテオミクス）

(1) HeLa細胞の増殖を抑制する天然物質の探索

HeLa細胞は、ヒトのガン細胞組織を培養しているものです。23時間で細胞数が2倍になる、dishに接着するという特徴があります。



(2) 骨格筋組織から心筋様自動拍動細胞への分化誘導



● 先輩はどんなところに就職しているの？

当研究室の学部卒の進路で、最も多いのは大学院進学です（長崎大学大学院、北海道大学大学院、京都大学大学院、大阪大学大学院、九州大学大学院）。

当研究室の大学院修了生は、主にメーカーの技術または研究部門で活躍しています。

学部卒業生の就職先は、大手製薬会社、大手証券会社、地元銀行などに実績があります。

